

総合政策学部車内公開講座 Vol.2

いろんな分野があるから
教養なんだ

杏林大学

総合政策学部

KYORIN

入学センター TEL.042-691-8613 (直)
<http://www.kyorin-u.ac.jp/univ/>

西／そもそも「テポドン」とか「ノドン」という名前は、どういう意味なのか？

倉田／あれは、あくまでアメリカ

カの呼び方です。北朝鮮がそう呼んでいるわけではありませ
ん。ミサイル発射基地のある地名をそのままコードネームに
したのです。「テポドン」は「大浦洞」、「ノドン」は「蘆洞」
という地名です。ちなみに北朝鮮では、「テポドン1号」は「白
頭山1号」と呼ばれているようです。

西／北朝鮮のねらいはどこにあると思いますか？

倉田／もともと北朝鮮は、核保有を「目的」として、秘密裏
にこれを行ってきました。2002年にそれが発覚して以来、
対米関係改善の「手段」としても使われるようになったので
す。核の開発をして欲しくなければ、我々に脅威を与える
な、というわけです。

西／アメリカが北朝鮮に脅威を与えているのですか？

倉田／忘れてならないのは、1950年に始まった朝鮮戦争
以来、アメリカと北朝鮮は、相変わらず「交戦関係」にある
ということ。戦闘状態は終わりましたが、まだ停戦体制
なのです。

西／関係改善の手段として、あえて核実験を「予告」したわ
けですか？

倉田／いや、わずか1週間足らずでの実行ですから、単なる
駆け引きではないでしょう。北朝鮮にとっては、核兵器を保有
しつつ、アメリカとの関係を改善するのがねらいです。「核が
あれば、フセインのようにはならない」という信念が、金正
日総書記にはあると思います。昨年の核実験は、対米関係改
善の進展に限界を感じて、核兵器開発

の比重を「手段」から再び

「目的」に移すという意

思表明でしょう。

(文責・倉田、西)

聞き手
総合政策学部教授 [経済学]
西 孝

話し手
総合政策学部教授 [現代韓国朝鮮政治]
倉田秀也

北朝鮮の心理学